



●皆さまへのメッセージ

8月例会で当事者お二人のお話を聞いて、改めて「信じて待つ」事の大切さを学びました。引きこもり状態が長期化したり、会話が途絶え行き詰まり状態になると、将来への不安で一杯になります。そういう状況の中でも子どもの素晴らしい点の一つでも見つけ、感じ取る力を磨いていけたらと思います。親が子どもを信じる事により、子どもも親を信じる事が出来るようになります。人を信じる力は自分を信じる力になり、自分を信じる力が生きる原動力となり、行動へと突き動かすのです。

(篠原会長)

●8月例会レポート

【ひきこもり当事者・経験者のお話を聴かせて頂く会】

参加者も多く、会場はいつもと違う雰囲気に関心の高さを感じました。当事者スペース参加のMさんとTさんのお二人がお話くださいました。ひきこもることによって「普通になれない自分」「人と違う自分」と葛藤しながらも日々を生き抜いてこられたこと、家族とのこと、相手を思いやるばかりに自分のことを話す言葉が見つからず話せなかったこと、親に言われなくても自分の事はちゃんと考えてきたことなど、深く心に残りました。親や家族に出来ることは、目に見えない大切な何かに目を凝らし、心に向けて、どこまでも見守ることではないかと思いました。最後にお二人が「自分たちの経験を話すことで誰かの役にたてば良い」と話された姿は爽やかで力強く見えました。Mさん・Tさん、貴重なお話をありがとうございました。



Mさん



Tさん

(谷戸)

<元当事者の方の当日アンケートより>

私自身苦しんでいる時期のことを思い出し、「苦しかったのは自分だけではなかった」と会に参加させていただき、思えたので良かったです。

(掲載許可を頂いています)

【グループトーク】

MさんやTさんのお話を自分たち親子に重ねながら聴いた方が沢山いました。「子どもを見守るには家族の力を合わせるが必要になってくる」「家族が同じ方向を向いたとき子どもが変わった」「ひきこもりの子どもを持ったからこそ家族と深く関わりあうことが出来た」と嬉しいお話もありました。グループトークは明日を豊かにするための振り返りの場にもなっているようです。(谷戸)

● 8/23 ミニグループトークを行いました。

初参加の方2名を含めて10人の参加でした。——「将来の不安や焦りから抜け出すには私達親はどのように発想を転換していけばよいのか?」「自分では相当価値を転換したつもりでも、子どもからは『わかってないな』と言われ、これ以上どう変われば良いのかわからない」、その他、医療機関に対する不信、発達障害についてなど2時間あまりの間に盛り沢山の内容でした。

(篠原)

🍑 山梨県桃の会 9月例会のご案内 🍑

【日時】 2015年 9月13日(日) 13:30 ~ 17:00

【場所】 山梨県福祉プラザ 4F 会議室

甲府市北新1-2-12

駐車場は台数に限りがあります。



※9月の当事者スペースについては、山梨県桃の会のホームページでご確認ください。

山梨県桃の会ホームページ <http://momonokai.org/>

【参加費】 家族で1,000円(当事者は無料)

【内容】①池上正樹さんの講演「全国のひきこもり大学を巡ってー当事者の思い」

池上正樹さん：ひきこもり問題、東日本大震災関連などを中心に取材・執筆活動を展開しているジャーナリスト。『大人のひきこもり 本当は「外に出る理由」を探している人たち』（講談社現代新書）、『ダメダメな人生を変えたいM君と生活保護』（ポプラ新書）など、著書多数。

② グループトーク

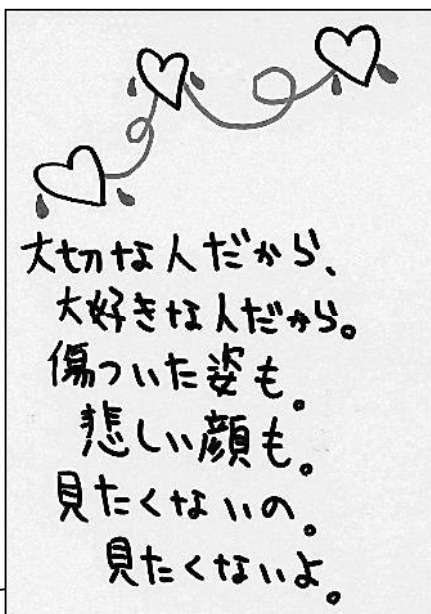
次回ミニグループトークのご案内

親(家族)同士のつながりの場です。申し込み不要、無料です。お気軽にご参加ください。

【日時】 2015年 9月20日(日)

10:00 ~ 12:00

【場所】 山梨県福祉プラザ 4F 第一会議室



山梨日新聞『扉の向こうへ 第1部』に登場された
モモコさん(仮名)が書かれた詩です。

<今後の活動予定>

	月例会	ミニトーク
10月	10日(土)	18日(日)
11月	8日(日)	15日(日)
12月	6日(日)	13日(日)
1月	17日(日)	24日(日)
2月	28日(日)	21日(日)
3月	13日(日)	19日(土)

【お問合せ】

山梨県桃の会会長 篠原博子

TEL・FAX(0554)66-4073

(090)6190-8677